（様式３）

自 己 評 価 結 果 票

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 　地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の行事参加の機会をできるだけ増やし、生き生きと明るく楽しい生活を援助していく。また、スタッフの明るさと笑顔の中でその人らしい生活をサポートする。		出来るだけ外出の機会を増やし地区行事の参加を増やし　ホームとして協力できる事があれば参加していきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 　管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域の方々やボランティアの方々に、認知症に対する援助方法などを話し合える機会を作り理解を求める。又スタッフの協力の基、理念に近づく支援を行いたい		現在5団体のボランティアさんの受け入れをしていますが地域の老人会や婦人会、子供会との交流を増やして行きたい
3	○家族や地域への理念の浸透 　事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	御家族やボランティア受け入れの際には理念について話し合いをする機会を設けている。又認知症についての理解をしていただけるように取り組んでいる		出来るだけ多くのボランティアの受け入れを行い、利用者様の楽しみを増やしていき、理念が浸透するように働きかける
2．地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 　管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接している診療所や、ホーム前バス停の待ち時間等に気軽に入って頂ける様に玄関に自動販売機を設置しています。ご近所からのお花を頂いたり、散歩時に気軽に声をかけていただいている		地域の方々との交流の中で、ホームとして奉仕できることを考えていく
5	○地域とのつきあい 　事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、老人会の入会は地区条例上難しいので、会員としての活動参加はしていないが、行事などの案内は頂き、参加している。		地元の民生委員の方々の訪問を受け、お話し相手になっていただいています

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
6	○事業所の力を活かした地域貢献 　利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の方々に、何かお役に立つことはないかとの思いや意見も出るが、現在取り組みまでには至っていない		在宅介護者の相談、悩み又は認知症に対する支援方法、独居老人の方が気軽に相談に来ていただける体制を作り上げて行きたい
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 　運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	去年の外部評価の総評を職員に配布し、改善点などを話し合い、前向きに取り組んでいる		推進会議の場やご家族の方に評価の説明をさせていただき改善に向けて取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 　運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事故報告、行事報告、評価報告、及び改善点についての説明もさせていただきました。地域の行事などの案内も頂いておりできるだけ参加できるように計画しています		
9	○市町との連携 　事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員担当者とは運営推進会議での意見交換と事故報告や定期書類提出に伺い、近況を報告できるように心がけています。		運営推進会議において意見や提案を頂いてサービスの向上に向けて取り組んでいます
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 　管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	3名の方が成年後見制度を利用されておられます。権利擁護事業を利用されている方はおられません。		職員には資料などを配布し、勉強会などで制度の理解を図っています
11	○虐待の防止の徹底 　管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員の外部研修は行っていないが、拘束や人権については注意を払っている。職員一人ひとりが自覚し、虐待防止に努めている		

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
４理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には契約に対する説明をしながら家族様からの不安、疑問点を伺っている。入院や退去されるご家族様には、お見舞いに伺ったり、お困りの事など相談にのるようにしている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホールに苦情受付箱を設置している。日々ご利用者様からの苦情要望に耳を傾け、改善に向けて取り組んでいる		赤穂市より介護相談員の派遣があり利用者の苦情や要望を聞き取り調査し又家族からの苦情についてはゆっくりお話を聞かせていただき、改善に向けて取り組んでいます
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月末に金銭預かり残高のお知らせと、日々のご様子を送付し又健康状態に悪化がみられれば、医師と相談し、ご家族に連絡し報告させていただいています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホールに苦情箱を設置しているほか、入居時に苦情についての説明を行い、公的機関の電話番号も記載している。御家族の面会時や、ケアプランの説明時には、ご意見・苦情を伺うようにしている		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度の全体会議開催時に運営者に出席してもらい、職員の意見をきいてもらえる機会をつくり、反映できるようにしています		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	外出・行事等については、事前に勤務調整をし、日々の対応としてはフリー業務者・日勤業務者が応援できるようにしている		外出援助についてなるべく個人の要望を優先し利用者全員が外出できるように取り組んで行きたい

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家庭の事情など、やむを得ない退職があるが、利用者様や御家族に挨拶または報告させていただき新任者への引継ぎも、利用者様へのダメージが最小限になるように努めている		
5.人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一度の全体会議の際に、必要と思われる介護知識や考え方などをレクチャーしている。また、個別でも話し合う機会を設けている。法人外研修は、職員数が少ない職場であることから、機会の確保が難しく、少しずつではあるが、試みている段階である		職員の能力、経験に適した研修を受けることが出来るように心がけている又本人の希望する研修を少しずつ増やして行きたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連する事業所などと交流会を開いて情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスや疲労に気を配り、要因を把握できるように努めている。休憩時間には利用者様と離れて一息できる場所を確保しており、建物外でも休憩所を設けている。		職員の様子を見ながら声かけし話が十分に聞ける時間を増やして行きたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格制度に向けた取り組みを行っており、取得後は本人の意思を尊重しながら力を発揮できる環境つくりに努めている。		日頃の努力や実績、勤務状況等を把握し職員の意欲を高めて働いていく環境作りをしていきたい

	項　　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご相談や入居の連絡があればご本人同伴で生活環境や日常の様子などを見学に来ていただいています。利用が決まればご自宅へ伺い、生活の様子や、不安なこと、希望を伺い安心して入居できるようにサポートする		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様の大半がご本人様が、ホームに馴染めるかどうかを心配されます。御家族の方には面接相談の機会を作ってゆっくりお話を伺うようにさせていただいています		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談頂いた時、まずお話をお伺いし、入居を急がれている場合には担当マネージャーやご家族と連携を持ちご本人が困らないように援助できるように心掛けている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	訪問聞き取りに出向いたときに、お世話させてもらう職員と同行し顔を覚えてもらうようにしています。ご家庭での様子を重点的に聞き、ホームでも生活習慣を維持できるように心がけている。御家族にも日々の様子を連絡し、不安解消に努めています。		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	家庭の生活に近づけるように家事を一緒に行い、日常生活のパターンを作るようにしています。皆さんで一緒にお茶を飲みながら団欒の時間を設けて、職員も学ばせて頂いています。		

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	御家族は皆さん協力的で、行事の参加も頂いています。また、面会時には利用者様の輪の中に入ってこられて、一緒のお茶を飲み、家族のように接してくださいます。		
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会はいつでもフリータイムでお受けしています。いつでも会えるという安心感のもとで、良い関係を保てるように心がけています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全員ではないが、二ヶ月に一度くらいで外泊されています。また、外出時にも以前生活していた家に帰られる事もあります。		外泊される利用者様は少しずつ減ってきています。出来るだけ外泊や家族との外出もしていただきたいと思っています
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が利用者様に声掛けし、孤立しないよう一緒に楽しめることを提供しています。ビデオ鑑賞の時間を設けて、職員といろいろ話しながら過ごしています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入退所の方や、他施設に移られた方がおられますが、遠方に移られた方はその後の様子を伺っていませんが、市内におられる方は時々ご様子を伺っています。		定期的にご様子を伺いいつでも力になれる体制を取れるようにしていきたい

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1. 一人ひとりの把握**				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	信頼関係を築き、お話の中から希望や要望を伺い、実現へ向けて取り組んでいる。また、意思疎通が困難な方は、日々のご様子や、御家族からの話の中から汲み取り、楽しく過ごせるように支援している。		意思疎通の困難な利用者様の思いを汲み取り、安定した生活支援に取り組んで行きたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問時にご本人の家庭での様子や生活歴を伺っている。また、センター方式の一部をお渡しして協力をお願いしている。その後も、気付きや会話の中で知りえたことを書き加えて、把握している。		各ユニットの職員がご家族の面会時に生活歴など個人を深く理解するためにセンター方式の様式に情報を記入している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存機能を活かせるように、調理・掃除・畑仕事を一緒に行っている。様々な働きかけの中から出きることを見出し、得意分野を活かしたアプローチをしている。		日常生活の中で一人ひとりが出来ることを見出して職員と一緒に行っている
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、より良いケアに向けて話し合いの場を持っている。利用者様、御家族からも話を伺う機会を設けている。全体でのケア会議で結果を報告し、情報を共有し、自立支援に向けて統一ケアを行うようにしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	設定した期間での見直しはもちろん、状態が変化した場合や入院後の変化に応じて現状に合った介護計画の作成に努めている。		

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、健康状態は、パソコンで管理しており、ひと目でユニットが把握できるようになっている。個々の気付きシートを活用し、情報を共有しながら次回のプランに活かしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者様やご家族の状況に応じて、通院介助や、入院時の付き添いや洗濯など必要であれば柔軟に対応し満足していただけるよう支援している。		
4．より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様が生き生きと安心して生活できるように地域の方やボランティアの協力を呼びかけている。消防署の協力の下避難訓練年2回と中学のトライヤルウィークなども協力させてもらう予定です		
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネジャーとは、入居時の情報提供などで連絡を取る中で、信頼関係を築いている所である。特別養護老人ホームへの入居の意向があれば、情報提供など必要な支援を行っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会では地域包括支援センターの方がメンバーであり、事業所内の件については定期的に報告している。		地域の情報や協力が得られる関係作りに取り組んで行きたい

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
43	○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接するかかりつけ医院の定期的な往診がある。定期的な健康診断や、緊急時にも柔軟に対応できる為、ご家族も安心されている。		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医院の医師が認知症の専門なので、指導や助言をいただいている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接地にある医院の連携により、個別の状況を把握されており、普段から気軽に看護師に相談でき、個々の健康管理を行っている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院する際は利用者様のストレスや不安を軽減するため、医師・ご家族との話し合いで情報交換し回復状況を把握している。ホームで対応可能な段階で早く退院できるように支援している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う対応の変化について、マニュアルを作成し方針を共有している。安心して最期が迎えられるように、入居時より説明を行っているほか、見取りが必要な場合は医師との連携を持ち方針を共有する。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族・かかりつけ医院・事業所の3者で話し合いを行いターミナルに向けてのケア方針を立て、スタッフの勉強会を行い、かかりつけ医院と連携を保っている		

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	次の居所となるホームの担当者による事前面接の際には、ご本人の生活状況を詳しく説明し、環境や暮らし方の継続性などに配慮してもらうように依頼している。ご本人やご家族の不安を取り除けるよう、退去後も何かあれば連絡くださいと伝えている。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1. その人らしい暮らしの支援** **(1) 一人ひとりの尊重**				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いには十分注意している。言葉や声かけには、利用者様の自尊心を傷つけないよう心がけ、職員間でも注意し合える雰囲気つくりをしている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様と職員の信頼関係が築けてこそ思いや希望が表わせるように思います。各利用者が小さなことでも自分で決めたり希望に添えるような支援が少しづつでも出来るようになってきていると思います。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事はなるべく全員でいただくようにしています。起床・就寝・入浴は利用者様の希望に添えるように行っている。テレビなども特に時間規制はありません。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	服装は利用者様が選んだものを着ていただくことを基本とし、自己決定が難しい利用者様には本人らしい身だしなみが出来るようにしている。散髪は、ご本人が希望される美容院への外出援助や訪問美容も選択していただいている。		

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が畑で作っている野菜を収穫し、調理している。季節感のある食卓を心がけている。収穫した方が「漬物で食べたい」と、作ってくれたり魚の移動販売で希望の食材を購入し、調理も一緒に行っている		
55	○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者は現在のところいませんが、要望時に楽しむことが出来るようになっている。飲酒は主治医の指示やご家族の要望により、現在は行っていない。飲み物は牛乳・ジュース・コーヒー・紅茶など自由に選択してもらっている。おやつなどは個人の好みを聞いて購入するようにしている。		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中は排泄リズムを把握しトイレ誘導を行い、気持ちよく過ごしていただけるようにしています。夜間も各利用者様に合わせた時間に誘導や尿パットを交換し、気持ちよく安眠されている。不快のないよう心がけています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者様の希望で毎日入浴されておられる方がおられます。ゆったりと入浴できるよう心がけています。入浴が好きでない利用者様にはタイミングを図って入浴していただいています。普通浴槽の為介助の必要な方は、日中にお願いしています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	午後より休息できるよう声かけ、支援している。また、浮腫軽減のため、下肢を圧迫刺激する医療機器を取り入れ、休息を兼ねている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お花を近所から頂いた時には、生け花が得意な方にいけていただいている。また、料理が得意な方には積極的に調理に参加していただき、美味しい料理が出来上がっている。その他、歌の好きな方、本の好きな方など楽しみのある生活を送れるよう取り組んでいる。		

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 　職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理でお金を持たれている方もおられます。こちらでお預かりしている方も外出時には自分で財布を持ち、レジで精算できるよう援助している。		
61	○日常的な外出支援 　事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な支援としては、気分転換を図るために近くの海岸や山沿いの道を散歩したり、畑の管理をしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 　一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	現在、外食計画や御家族同伴の外出なども計画しようと職員間で案を練っているところである。		軽い外出援助は出来ているが、家族同伴の外出は実行できていない
63	○電話や手紙の支援 　家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングに公衆電話を設置しており、利用者様が希望すれば支援している。また、季節に応じた年賀状や書中見舞いなども余暇活動の一環として作成し、ご家族へ送付している。		公衆電話の使用はほとんどありませんが希望されれば職員が中継ぎをしています
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 　家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会に来ていただけるようにご家族様に伝えている。知人・友人の面会時にもお茶を出して一緒に語らいの時間が過ごせるよう場所作りや笑顔での対応を心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 　運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についてのマニュアルを作成し、全体会議などで拘束のないケアについて、話し合い全職員が認識しながら業務に当たっています。		

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を出るとすぐ国道である。車のスピードも速く危険ですので、事務所不在時には鍵をかけています		事務所の不在をなくし、鍵をかけない取り組みを行っています
67	○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者様の行動をさりげなく見守り、業務を行いながらでも行動を把握できるよう努めている。１階、２階と自由に行き来しています。不在時も連絡を取り合い安全確保に配慮している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒液や洗剤など、健康管理面で問題のあるものは置き場に配慮しています。利用者様の個々の状況に応じて話し合いの場を持ち、個室・共有スペースでの対応にあわせて物品の管理を行っている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災訓練は定期的に行っています。ヒヤリハット報告書はすぐに記入し、会議で報告し合う場を設けている。また、事故を未然に防ぐ為にもヒヤリハットの活用を重視した教育を行って行きたい		ヒヤリハット報告が活かされていく取り組みをして行く
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に緊急時の対応についての勉強会や、応急処置の指導など隣接の看護師の協力の下行っている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練を年に２回行っている。事前に自治会には話をしており、協力が得られるよう理解をしていただいている。		推進会議のメンバーの方が隣接しており（２名）協力要請は毎回会議内でお願いしています

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居前のご家族との面接時には拘束についての説明をしている。また、利用者様のご様子に合わせて再度相談・説明し生活に支障のきたさない暮らしをサポートできるよう心がけている。		家族様の面会時には近況報告兼ねて起こりえるリスクについてお話するようにしています
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、食事・水分・排泄状況をパソコンに記録している。また、普段の様子を把握し異常や変化が見られれば報告し対応している。情報を共有し勤務者へ引継ぎしている。		夜間の様子や日勤での様子などの申し送りを徹底し体調不良者がいれば早めにかかりつけ医院に報告している
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の疾患を把握し、処方薬の内容がわかるように説明書をファイルに入れて保存し閲覧できるようにしている。誤薬がないように個人名記し、分封処方薬に日付を記載し飲み合わせが無いよう援助している。		
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食材には野菜を取り入れるように心がけ、飲み物・おやつには乳飲料を取り入れています。日常生活においても適度な運動を取り入れるようにしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨き、口腔ケアを習慣化している。利用者様の能力に合わせて声かけし介助を行っている。また、食事をおいしく食べるために必要に応じて歯科往診を受けていただいています		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、カロリー過不足が起こらないよう献立表を作成し食事形態も利用者様の健康状態に配慮し対応している。１日の水分量や食事摂取量をチェックして水分の入りにくい人や発熱者にも注意を払い、こまめに水分補給している。		

項　　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルを作成し、すぐ閲覧できるところに保管している。手洗い・うがいを徹底し、共有スペースの消毒を行い、予防に努めている。インフルエンザの予防接種は、全職員が受けている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理後、まな板や雑巾はハイター消毒し、食材は１日分購入し、毎週水曜日に冷蔵庫の整理を行っている。職員も利用者様も調理前には手洗い、消毒している。卵、肉や魚介類は完全に火が通るよう調理している。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに植木や鉢植えなどを置き、隣接の方が入りやすいように自動販売機を設置し、明るい雰囲気のホーム作りを心がけている。		近隣の方が気軽に出入りできるようなホーム作りを目指したい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの花を生けたり、手作りの作品なども飾ったりと落ち着ける空間を作り、入浴時には季節感のある入浴剤を使用している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホール・ウッドデッキ・２階入り口に、テーブル・椅子・本などを設置し、来客時の語らいに使用したり一人になれるスペースとして活用されている。		

項　　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の説明で、ご家庭で使用されていた物をそのまま持ってきていただき、馴染みの家具に囲まれた部屋作りをお願いしている。特に、家族の写真などもお願いしている。また、余暇活動で作った作品なども飾れるように支援している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の居室の掃除・寝具交換の際は、窓を開けて換気している。また、リビングに温度湿度計を設置し、利用者様が心地よいと感じる温度で過ごせるよう配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリー構造になっている。トイレ・浴室には手すりがあり、自立への支援をしている。ホームの床は衝撃を吸収するような素材であり、転倒の衝撃を緩和できる工夫がなされている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	様々なアプローチにより、出来る能力・支援が必要な事項を知り自立支援を心がけて、特に気にされる排泄への援助は、さりげない声かけをおこない混乱や失敗があるときはいつもより関わりを増やし、職員間で話し合いながら環境整備に努めている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭に畑のスペースを確保しており、季節の野菜や花を育て収穫している。利用者様も、自分が役に立つという自信を取り戻すきっかけになっていると思われる。また、芝生のスペースもあり、ベンチに座り外の空気を感じることが出来るようにしている。		野外での食事会（バーベキュー）も行い気分転換を図っている

（ ▒▒ 部分は第三者評価との共通評価項目です ）

Ⅴ．サービスの成果に関する項目

項　目		取り組みの成果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の２/３くらいの ③利用者の１/３くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に１回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の２/３くらいと ③家族の１/３くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項　　目		取り組みの成果 （該当する箇所を○印で囲むこと）	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の２/３くらいが ③職員の１/３くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２/３くらいが ③利用者の１/３くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の２/３くらいが ③家族等の１/３くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様一人ひとりのペースでゆったりとした生活の中で、個々の残存機能を活かし畑仕事、食事準備、お花の手入れ等をしておられます。又朝、昼、夕食は全て手作りで、季節の食材（畑で収穫した野菜）を使用しています